

第 8 節 消 防 関 係

1 消防

(1) 常備消防

ア 消防管理一般事業

33,231,038 円

廿日市消防署、西分署、佐伯分署、大野消防署及び宮島消防署各庁舎の維持管理費

(注) 予算に定めるもののうち、本年度に支出を終わらないで、地方自治法第 213 条及び同法施行令第 146 条の規定により、翌年度に繰越して使用するものは次のとおりである。

概 要	施工箇所	事 業 費	
			うち補助対象事業費
非常電源設備設置工事実施設計業務委託料	西分署	300,000	300,000
非常電源設備設置工事	西分署	9,500,000	9,500,000

イ 常備消防活動事業

80,603,218 円

市民生活の安全確保を重点目標として、消防体制の充実強化を図った。

(ア) 職員の教育・研修等の実施状況

a 初任教育

新たに採用した消防職員に対し、全寮制の教育により、消防防災に関する基礎的な知識及び技術の修得と、強靱な体力、気力、社会人としての人格形成を目的とした研修のため、広島県消防学校へ 4 名入校した。

b 専科教育危険物科

危険物に関する知識及び技術を修得するため、広島県消防学校へ 1 名入校した。

c 専科教育救助科

救助技術に関する知識及び技能を修得するため、広島県消防学校へ 2 名入校した。

d 専科教育救急科

新しく救急隊員の資格を取得するため、広島県消防学校へ 4 名入校した。

e 専科教育特殊災害科

化学物質汚染等の災害に関する知識及び技能を修得するため、広島県消防学校へ 1 名入校した。

f 特別教育消防団員教育担当

消防団員教育に関する知識及び技能を修得するため、広島県消防学校へ 1 名入校した。

g 特別教育現場指揮

災害現場における指揮者としての知識及び技能を修得するため、広島県消防学校へ 2 名入校した。

(イ) 消防職員の現場における安全性をより高めるため、年次計画に基づき防火衣等を 121 着購入した。

(単位：円)

概 要	対 象	事 業 費	
			うち補助対象事業費
防火衣・防火帽・編上長靴	各署分署の消防隊員及び救助隊員	18,485,775	18,485,775

(ウ) 吉和地域消防事務委託

吉和地域の消防体制の確保を図るため、消防事務を委託している広島市に対し、消防事務の一部の事務委託に関する規約に基づき、負担金を支払った。

吉和地域消防事務委託負担金 34,058,936 円

ウ 救急活動事業

6,419,155 円

新型インフルエンザ対策として救急隊員等の感染を防止するため、緊急に感染防止衣、マスク等を整備した。

救急用防護資機材 947,100円

エ **救急高度化推進事業** 4,228,171円

救命率の向上と救急業務全般の高度化を一層推進するため、広島市救急救命士養成所へ1名入所し、救急救命士の国家資格を取得させるとともに、現任救急救命士の再教育及び薬剤投与等の資格を取得するための講習を受講した。また、町内会等を対象に救命救急講習会を実施して、応急手当の普及啓発活動を行った。

- (ア) 救急救命士養成 2,139,375円
- (イ) 気管挿管認定救急救命士養成(2名) 600,000円
- (ウ) 救急救命士薬剤投与追加講習(2名) 515,720円
- (エ) 救急救命士再教育(2名) 61,641円
- (オ) その他消耗品等 911,435円

オ **高規格救急自動車整備事業** 83,459,678円

廿日市消防署、廿日市消防署佐伯分署及び大野消防署の老朽化した高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材を更新した。

(単位：円)

概 要	配置箇所	事 業 費	
			うち補助対象事業費
高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材	佐伯分署	27,931,346	27,772,500
高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材	大野消防署	27,764,166	0

平成20年度繰越分

(単位：円)

概 要	配置箇所	事 業 費	
			うち補助対象事業費
高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材	廿日市消防署	27,764,166	27,686,000

(2) 非常備消防(消防団)

ア **消防団活動運営事業** 101,448,758円

消防団は、消防署と共に市民の生命、身体及び財産を各種災害から守るため、火災の予防と各種災害による被害の軽減、防止活動を行った。また、消防団の施設、組織の充実を図るとともに、各種教育訓練を通して、消防に関する高度な知識の修得と技術の向上を図った。

(ア) 消防団員の教育・研修等の実施状況

a 訓練指導員(県)教育訓練

分団長5名が、訓練礼式及びポンプ操法の指導員として必要な知識及び技術を修得するため、広島県消防学校へ入校した。

b 訓練指導員(市町村)教育訓練

副分団長1名、部長2名、班長5名及び団員1名が、訓練礼式及びポンプ操法の指導員として必要な知識及び技術を修得するため、広島県消防学校へ入校した。

c 上級幹部教育訓練

団長1名及び副団長4名が、消防団の上級幹部として、組織の管理と消防団活動に必要な知識及び技術を修得するため、広島県消防学校へ入校した。

d 中級幹部教育訓練

分団長1名及び副分団長2名が、幹部の心得と部隊運用等、消防団活動に必要な知識及び技術を修得するため、広島県消防学校へ入校した。

(イ) 消防団員数の推移

(単位：人)

地域 時点	廿日市	佐伯	吉和	大野	宮島	合計
H19. 4. 1	181	119	75	168	72	615
H20. 4. 1	184	115	73	166	76	614
H21. 4. 1	183	112	71	169	73	608

(ウ) 消防団員の訓練実施状況

訓練を年間269回行い、延べ8,014人参加した。

(エ) 消防団員の報酬・費用弁償支払状況

- a 消防団員報酬 18,137,932 円
b 訓練・出勤手当等費用弁償 36,259,740 円

(オ) 消防団員の現場における安全性をより高めるため、防火衣等を202着購入した。

(単位：円)

概 要	対 象	事 業 費	
			うち補助対象事業費
防火衣・防火帽	各地域分団の消防団員	17,727,000	17,727,000

(カ) 広島県消防協会廿日市支部補助金 4,204,000 円

イ **小型動力ポンプ付積載車整備事業** 15,690,990 円

老朽化した津田班及び頓原班の小型動力ポンプ付積載車2台を更新した。

(3) 消防施設

ア **消防水利施設整備事業** 4,578,000 円

大野地域（毛保川公園）に1基、耐震性貯水槽を新設した。

(単位：円)

概 要	施工箇所	事 業 費	
			うち補助対象事業費
耐震性貯水槽整備工事	大野中央四丁目	4,578,000	0

イ **消防庁舎整備事業** 417,258,373 円

消防本部機能の強化を図るため、新消防庁舎建設工事を平成19年度から平成21年度までの3か年で行った。平成21年度は車庫棟を完成させ、消防活動の拠点施設を整備した。

(単位：円)

概 要	施工箇所	事 業 費	
			うち補助対象事業費
消防庁舎建設工事			
建築工事	串戸一丁目	313,868,278	0
空調設備工事	串戸一丁目	23,009,457	0
衛生設備工事	串戸一丁目	18,115,493	0
電気設備工事	串戸一丁目	28,197,297	0
車庫棟省エネルギー空調工事	串戸一丁目	10,871,700	0
車庫棟省エネルギー電気工事	串戸一丁目	5,953,500	0
付帯工事	串戸一丁目	2,887,290	0
工事監理	串戸一丁目	7,015,000	0
備品費	串戸一丁目	5,940,795	0
その他消耗品費等	串戸一丁目	1,399,563	0

ウ **消防団車庫整備事業**

21,533,400円

吉和地域内の老朽化した花原及び細井原各消防団車庫を統合し、市垣内に新しく整備した。

(単位：円)

概 要	施工箇所	事 業 費	
			うち補助対象事業費
実施設計業務	吉和支所内	1,026,900	0
建築工事	吉和支所内	20,265,000	0
水道施設整備納付金	吉和支所内	241,500	0

(4) 防災

ア **防災業務一般事業**

35,813,987円

防災意識の醸成を図るため、沿岸部と島しょ部を対象として、洪水、高潮及び津波の浸水想定区域を記載した浸水ハザードマップを作成した。

浸水ハザードマップの作成 9,870,000円

イ **防災業務情報収集事業**

2,223,659円

災害を未然に防止して被害を最小限にとどめるための各種防災情報を一元的・共有化する広島県防災情報システムの使用や、災害時における情報伝達のための防災行政無線（移動系）の点検を行った。

防災無線保守点検業務等委託料 1,230,600円

土石流発生監視装置保守点検業務委託料 450,660円

防災行政無線電波利用料負担金（移動系） 41,100円